

「介護の集い」を開催しました。

9月18日(水)若槻ホーム様のご協力のもとコミュニティセンター三登山ホールにて「介護の集い」を開催しました。

「寸劇とクイズで覚えて帰ろう介護のいろは」と題し、前半は寸劇「おばあちゃんがいなくなった！」認知症のおばあさんが自宅から行方不明になってしまい、その時の対応を良い例と悪い例の2パターン行い、若槻ホーム様に解説していただきました。

道迷いされている認知症の方を偶然にも発見した場合、まず何をすればよいか？

◇優しく声かけをして本人を安心させてから、迷わず110番に電話し保護を要請する。

その他、認知症の方への対応の7つのポイント、介護についての〇×クイズを行い、介護について楽しく学んでいた



熟演 寸劇「おばあちゃんがいなくなった！」

いただきました。

そして、後半は認知症看護認定看護師 中村哲朗氏のお話。中村看護師が一番伝えたいこと「愛情」「思いやり」「優しさ」「強さ」、これらは本人の根底にあるもので、認知症になっても決して失われることはない。そのことを知っていれば、

辛く苦しい介護も耐えることができるというものでした。

最後は、実際に奥様の介護をしている男性2名の方のお話をお聴きしました。気が休まることなく、日々の暮らしがいかに大変か、さらに老老介護の厳しさなどがひしひしと伝わってくるお話でした。病気が原因の介護の場合、福祉医療制度の活用のお話もありました。

今回の「介護の集い」は、前半は楽しく学び、後半は厳しい現実と向き合う介護について知ることができた大変意義のあるものだったと思います。(福祉部会)

第2回
若槻自然遺産
散歩会

田子池と保存樹林・ 樹木コース巡り開催

10月12日(土)は、清々しい秋晴れの下一般参加者7名、役員・ガイド6名参加のもと開催しました。

つつみ池跡駐車場～大門の石佛・石塔～明治天皇御小休所跡(門)とソメイヨシノ桜～舟地藏尊～駒繋ぎ石～田子池～観音山遊園地～田子神社社叢・御膳水～地藏院～つつみ池跡駐車場に戻るコースで3km程です。

明治天皇御小休所跡のソメイヨシノ桜1本は、平成6年長野市指定の保存樹木第215号です。田子池は田子区と吉区にまたがっており、東西240m、南北220m、周囲長1795m、総面積5.5haで、吉、田子、古里の三才地区の用水として利用され、その6割以上を三才地区が利用していま

す。また、昭和30年半ばまでは、冬季氷結した湖上を利用してスケート場として大規模なスケート大会も開催されていましたが、温暖化等で今は結氷する事はありません。

更に歩を進めて田子神社社叢の保存樹林第157号は、平成6年長野市指定のスギ・ケヤキ・桜等39本「長野市緑を豊かにする条例」に基づいて指定されました。田子神社横には、石灯笼の背後から湧き出す御膳水があり、水量、水温、水質が年中変わらず、柄杓でくみ上げて手のひらに掛けた所、非常に冷たく感じました。この御膳水は、明治11年9月、明治天皇が北陸御巡幸の途中、御小休所で「御膳水」として用いられた事からこの名称となったとの事でした。

まだ紅葉の季節には早い様で、10月下旬頃が一番いいよ



うに思われます。皆様も散歩コースに選んでみませんか！
(自然環境部会)

石灯笼の背後から湧き出す御膳水



広告